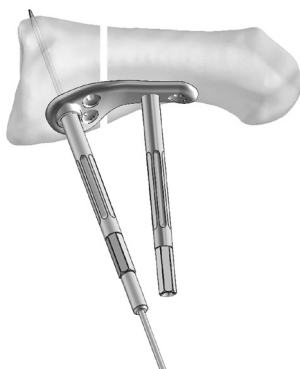


H.O.L.P. Surgical Technique

1 プレートサイズと設置位置の検討

第1中足骨に近位骨切りを行い、Kワイヤーで仮固定を行う。その後、テンプレートを用いて、適切なプレート角度を確認する。確認の際、テンプレートの遠位側にロックングドリルガイドを取り付け、取っ手として使用が可能である。また、近位側にロックングドリルガイドとガイドピンガイドを取り付け、1.2mmガイドピンでスクリー挿入方向を確認することも可能である。



2 ターゲットデバイスの装着

選択したプレートをパッケージより取り出し、図のようにターゲットデバイスを取り付ける。

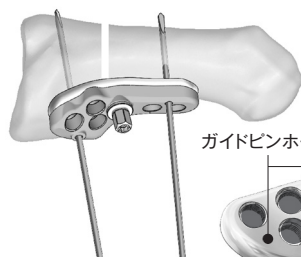


3 プレートの仮固定

インプラントを矯正した骨面に当て、プレート設置位置を決定する。

(1) ガイドピンホールの使用

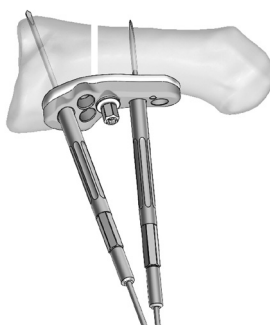
ガイドピンホールに1.2mmガイドピンを挿入し、プレートの仮固定を行う。



ガイドピンホール

(2) ガイドピンスリーブの使用

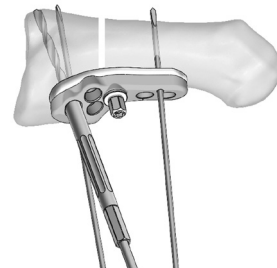
プレートにロックングドリルガイドとガイドピンガイドを装着する。ガイドピンガイド越しに1.2mmガイドピンを挿入し、プレートの仮固定を行う。



● ロックングホール

4 スクリューホールの作製

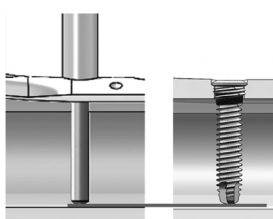
ターゲットデバイス越しに、ロックングドリルガイドを取り付ける。ソリッドドリルを用いてロックングドリルガイド越しに、下穴を作製する。



5 スクリュー長の測定

(1) モノコーティカルで測定する場合

ロックングドリルガイド越しに、デプスゲージ（ストレートタイプ）で深度を測定し、適切なスクリーを選択する。

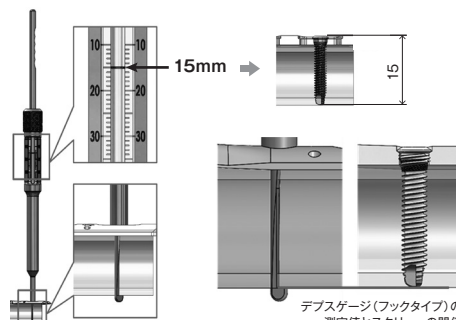


デプスゲージ（ストレートタイプ）の測定値とスクリーの関係

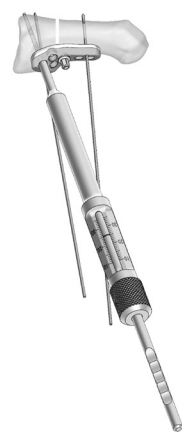


(2) バイコーティカルで測定する場合

ロックングドリルガイドを取り外し、プレート越しにデプスゲージ（フックタイプ）で深度を測定し、適切なスクリーを選択する。



デプスゲージ（フックタイプ）の測定値とスクリーの関係



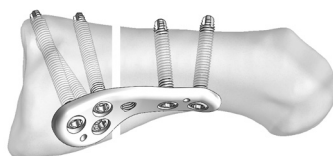
6 スクリューの締結

測定した値から2.7mmロックングスクリーを選択し、トルクリミテーションドライバーにて挿入する。なお、スクリーホルダーを使用することで、スクリーを把持することが可能である。



7 設置の完了

残りのスクリーホールについても、④～⑥の手順でスクリーを挿入する。その後、ターゲットデバイスを取り外し、設置を完了する。



【本品の抜去】

必ずトルクススモールドライバーまたはトルクスドライバーを用いて、ロックングスクリーを一本ずつ抜去する。



2025年7月 ver.1

製造販売業者



株式会社

TEL 0575-24-7059

製造業者

メイラ株式会社

問い合わせ先

メイラ株式会社 メディカル事業部 業務グループ TEL 052-459-1277（直通）／FAX 052-459-1282